

入間市新水道ビジョンの見直しについて

■入間市新水道ビジョンの進捗管理

水道事業では、平成 29 年度から令和 8 年度までを計画期間とした「入間市新水道ビジョン」を平成 28 年度に策定しました。新水道ビジョンは、健全で安定した継続的な事業運営と経営基盤の強化を図ることを目的に、収支のバランスの取れた 10 年間の投資財政計画が含まれた内容となっており、水道事業は新水道ビジョンに基づいて運営をしています。また、各年度の決算時には進捗状況を確認し、計画の進行管理を行っているところです。

■中間評価

前期 5 年の最終年度である令和 3 年度において中間評価を実施し、前期 5 年間の実施状況を踏まえ、後期 5 年間の計画を必要に応じて見直します。当初計画策定時には、投資額に対し、その財源として令和 5 年度に料金改定を見込むことで収支均衡のとれた投資財政計画としましたが、このタイミングで投資額及びその財源について再度検討を行い、改めて収支均衡が図られた投資財政計画へと見直すこととしています。

■前期 5 年(平成 29 年度～令和 3 年度)における計画と実績との比較

計画の見直しが必要であるかを判断するため、4 つの基本方針における前期 5 年間の計画値と実績値を比較すると次のとおりです。

① 損益黒字は令和 3 年度以外は確保されますが、純利益見込額が減少します

令和 3 年度は南峯配水池解体工事費を特別損失で計上したことにより、当初予算において損益黒字が確保できませんでした。当該年度以外は確保できる見込みですが、主に収益的支出の増額を要因とし、計画値よりも損益黒字の額が減少する見込みです。

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
計画値	3.52 億円	4.01 億円	3.56 億円	1.62 億円	0.26 億円
実績値	5.07 億円	4.15 億円	3.38 億円	0.97 億円	△0.23 億円
差	+1.55 億円	+0.14 億円	△0.18 億円	△0.65 億円	△0.49 億円

※ 実績値は、平成 29 年度～令和元年度が決算値、令和 2 年度が決算見込値、令和 3 年度が当初予算値です

② 給水収益に対する企業債残高の割合は 150% 以下です

計画よりも上回っていた内部留保資金を管路の更新費用等の財源に充てることで、企業債発行額が計画を下回りました。結果、令和 3 年度末の企業債残高は、計画値 34.7 億円に対し、28.53 億円となり、給水収益に対する企業債残高の割合は目標の 150% 以下を確保し、その比率も計画よりも良好となりました。

③ 内部留保資金は計画どおり15億円以上確保されています

前述のとおり、計画期間当初から内部留保資金確保額が計画を上回っていたことから、令和3年度末で確保見込 17.28 億円に対し、25.74 億円確保できる見込みであり、8.46 億円上回る見込みです。

④ 料金回収率100%以上の確保

平成 29 年度から令和元年度までの決算並びに令和3年度当初予算において料金回収率は100%を確保しました。令和2年度については、最終補正予算の段階では100%を確保できない状況です。

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
計画値	108.10%	109.70%	107.60%	106.00%	102.10%
実績値	115.55%	111.29%	107.54%	97.51%	100.56%
差	+7.45 ㍴	+1.59 ㍴	△0.06 ㍴	△8.49 ㍴	△1.54 ㍴

⑤ 管路・施設の更新状況

管路の更新事業は「短期耐震化計画（老朽管布設替計画）」に基づき年間 5,500m 程度を目標に実施しています。前期5年の実施延長は約 29,000m となり、計画延長 26,913m を上回る見込みです。また、管路の耐震化率は令和3年度末の目標値である 33.8% を達成する見込みです。

施設・設備の更新事業は平成 29 年度の寺竹配水場の完成、令和3年度から実施する西武第一配水池の建替事業など概ね計画通りに実施できています。

■後期5年計画の見直し

見直しの進め方として、投資額については短期耐震化計画（老朽管布設替計画）及び施設・設備の更新計画に基づき新たな事業費を、その他の維持管理経費についても現状に応じた事業費を基に、後期5年間の投資試算を策定します。また、新たな投資試算を踏まえ、その財源となる後期5年間の財源試算を策定します。

その後、投資試算と財源試算が均衡しているかを検証し、収支ギャップが生じた場合は事業実施時期の見直しや料金改定の試算により収支ギャップの解消に努め、収支均衡が図られた投資財政計画を策定します。

つきましては、令和3年度中に上下水道審議会の委員の皆さんに対し途中経過等を含めて説明させていただき、皆さんからのご意見をいただきながら進めていきたいと考えておりますので、ご協力をお願い申し上げます。